

市議会定例会

平成20年度第2回常陸大宮市議会定例会が、6月8日から20日まで開催されました。
次の議案が提出され、原案どおり可決・承認されました。

市長提出議案

一部を改正した条例

- 常陸大宮市監査委員条例
- 常陸大宮市手数料徴収条例
- 常陸大宮市農村地域における工業等の導入を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例
- 常陸大宮市市営住宅条例
- 常陸大宮市特定公共賃貸住宅管理条例
- 常陸大宮市公民館の設置及び管理に関する条例

その他の議案

- 常陸大宮市道路線の認定について
- 常陸大宮市道路線の廃止について
- 常陸大宮市道路線の変更について
- 高規格救急自動車購入について

平成20年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算(第2号)

人事案件

敬称略

- 副市長の選任について
前田 尚利(水戸市)
- 監査委員の選任について
沼田 彰(小倉)
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
佐藤壽美子(南町)

議員提出議案

- 常陸大宮市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市議会広報特別委員会の廃止に関する決議
- 後期高齢者医療制度(長寿者医療制度)の改善に関する意見書

副市長に前田尚利氏

前田尚利氏が、6月5日付けで収入役を退任され、6月6日付けで副市長に就任されました。



監査委員に沼田彰氏

浅川功基氏が、4月30日付けで監査委員を退任され、6月6日付けで沼田彰氏が就任されました。



人事異動

(平成20年6月6日付)
会計管理者兼会計課長 飯島 弘道

全農乾椎茸品評会

林野庁長官賞に 関さん、桑名さん

今春生産された乾シイタケの出来栄を競う第41回全農乾椎茸品評会が6月6日、埼玉県久喜市の全農椎茸事業所で開かれ、こうしん中葉中肉の部に於いて、関博司さんと桑名輝美さんが林野庁長官賞に、桑名恵子さんが全農会長賞、山口正男さんが全農全和会長賞に入賞しました。

この品評会に出品された乾シイタケは先に開かれた茨城県J Aグループ乾椎茸品評会で入賞したもので、今回全国から377点出品され予備審査で150点に絞りられ、60点が入賞しました。茨城みどり農協では35点出品し6点が入賞。今年は4月に雨天が続き作柄に影響があり、ヒダの色だしや丸型の良品に品揃えするのに苦労したとのことでした。

乾シイタケは、中国産の残留農薬問題を受け、消費者の需要は国内産となっており、生産者からは「価格も安定してきているので受賞を機に生産拡大を図っていききたい」との声が聞かれました。



▲関さん



▲桑名さん

知

市ってニュース!

このコーナーでは、常陸大宮市のさまざまな出来事や話題を紹介します。皆さんからの身近な情報をお待ちしています。

どうぞお気軽に情報をお寄せください。

★情報政策課

☎ 52-1111 内線383

FAX 53-6010

e-mail

jousei@city.hitachiomiya.lg.jp

情報を声でお届け

「朗読せせらぎ」（篠田タカ会長）は会員11人のボランティアグループです。旬報や広報等を朗読し、テープに録音後、市内の視覚障害者の方に発送しています。

活動の場は総合福祉センターかがやき2階の録音室。旬報と広報の発行に合わせて3グループを作り、月に3回活動を行っています。広報紙等が多いときは作業に3時間近くかかることもあるそうです。交替で紙面を読み上げ、録音し、利用者12人分のテープをダビングして発送するまでの作業を行っています。

活動は昭和60年から20年以上続いており、テープを楽しむに待っている方がいることが継続の支えになっていると篠田会長は話します。

新たな会員も募集しているとのこと。朗読ボランティアに興味がある方、やってみたいと思われる方はお問い合わせください。

選任による農業委員が
改選となりました

農業協同組合推薦の市野沢弘氏が6月30日付けで選任の農業委員を退任され、後任に7月1日付けで野上昭雄氏が就任されました。

●広報協力員レポート●

初原 智明さん（鷺子）

小田野区ふれあい祭り開催

6月8日小田野山村広場で第2回小田野区親子三世代の集いを行いました。

ふれあい祭りではパンくい競走、輪投げ等が行われ、昼には餅つき体験でついたお餅をみんなで食べました。

ふれあい祭りは、昨年に引き続き2回目の開催となります。当日は曇り空でしたが、多くの区民が参加協力し、スムーズに集いを終了することができました。



鷺子地区で応急手当と
救命処置講習開催

6月22日美和高齢者コミュニティセンターで鷺子地区の区の事業として初めて「応急手当と救命処置講習会」が開かれました。

当日は西消防署職員3人を講師に迎え、心肺蘇生や止血等の応急手当、AEDの操作方法の救急訓練等を行いました。

はじめての開催でしたが、参加した18人は熱心に実技に取り組み、予定されていた3時間30分はあっという間に過ぎてしまいました。



▲篠田 タカさん



▲河西 京子さん



▲河井 睦子さん

■問い合わせ先■

「朗読せせらぎ」
篠田 タカ会長宅

☎52-1064

●広報協力員レポート●

中山 さち子さん（三美）

三美ふれあいサロン開催

5月13日、三美ふれあいサロンが三美集落センターにおいて開かれました。このサロンは地域の和を大切にしたいと結成して5年目となり、会員数は31人、毎月第2火曜日に開いています。

今回は歯科衛生士の方にきていただきました。病気の予防のためには口の中を清潔に保ち、十分な栄養摂取のため、噛む力や飲み込む力が衰えないようにすることが大事であること。また、誤嚥性肺炎がきっかけで寝たきりにならないよう、嚥下障害を防ぐため口腔疾患等に気をつけることが大切であるとお話を聞きました。

参加者は熱心に聞き入り、有意義な時間をすごすことができました。



中高一貫教育

小瀬高校では、平成20年4月より、市民バスを高校生の登校用として活用しています。

3月までは大宮・御前山・桂地域、そして、栃木県方面から登校する生徒の交通機関がなく不便でした。

しかし、現在は市民バスの回送車両の利用ができるようになり、2つのコースが設定され登校が便利になりました。



Aコース 常陸大宮駅—那珂川大橋—高校下
Bコース 玉川村駅—塩田—高校下

駐輪所や送迎の下車・乗車場所を市民の方が提供してくれており、利用者が多く、特にAコースのバスには30人近い生徒が乗車しています。



パパが妊婦体験

6月21日、総合保健福祉センターがやきで「ステキなマタニティ教室」が開かれました。

この教室は出産予定月毎に4コースに分かれ各2回ずつ開いています。

この日の参加者は8、9、10月に出産予定の妊婦11人と妊婦の夫7人の合計18人で、出産に向けての準備や胎児を育てる食事等について学びました。

また、この日は夫が妊婦を疑似体験する「体験マタニティ」の時間が設けられ、重さ約10キロの妊娠シミュレーターを装着し、妊娠後期の体重増加、肺・胃・膀胱等への圧迫、妊娠中の体の変化に伴うバランス感覚などの諸症状を体験してもらいました。

参加者たちは、想像以上の重量感に驚いた様子。いすに座ったり立ったり、寝たり起きたり落ちたものを拾ったりと日常的な動作を体験し妊婦の大変さを実感していました。



装着。
意外とずっしりきます！

ふるさとの映像を インターネットでご覧いただけます

地域文化資産ポータルは全国の自治体が保有する、わが国各地の伝統文化の映像記録を300本ほど選定し、ネット上で公開するものです。総務省の指導で行われ、常陸大宮市内の記録映像も「那須楮と西ノ内紙」「大宮町の年中行事」「大宮町の祇園」の3本が採択されました。全国の貴重な映像と共にもいつでもネットでご覧いただけます。

アドレス (<http://bunkashisan.ne.jp>) のほか、「地域文化資産」「地域創造」からも検索できます。ぜひご利用ください。



仰向けで寝るのがって苦しい。
なかなか起き上げられません。



椅子から立ち上がるのにも苦勞です。



▲トロフィーを受け取る大貫会長



▲目録を受け取る三次市長



▲西塩子の回り舞台保存会の皆さん

西塩子の回り舞台保存会 第1回ティファニー 伝統文化振興賞受賞

6月26日東京青山の表参道の梅窓院でティファニー財団賞授賞式が行われました。

ティファニーは世界的に有名な宝飾品と銀製品のアメリカのブランドです。そのティファニーの財団が(財)日本国際交流センターとともに昨年12月に「ティファニー財団賞—日本の伝統文化と現代社会—」を創設。日本の伝統文化の振興と地域社会の活性化に功績のある組織に対する顕彰を目的として、本年度より実施されました。

西塩子の回り舞台保存会(大貫孝夫会長)は、今年1月、自薦により伝統文化振興賞に応募し、応募34団体の中からみごと第1回目の受賞団体に選ば

れました。小さな集落の住民たちが力をあわせて壮大な回り舞台を復活させ、地域社会の活力の潜在力を再認識させたことが評価され、今回の受賞となりました。

授賞式には保存会から代表者と市長、外関係者が出席し、ティファニー文化財団理事長よりティファニー製のトロフィーと賞金200万円が授与されました。

賞は毎年2団体に授与されることになっており、伝統文化大賞(全国的に有名で、長年にわたり事業を継続している団体を対象)には21団体が応募し、常陸大宮市とも和紙原料楮(こうぞ)の消費地として関わりの深い、岐阜県美濃市の美濃和紙あかりアート実行委員会が選ばれました。



知って得する 消費者情報⑬

頼んでいないのに勝手にカニが送られてきた

ひとり暮らしの高齢者宅に、宅配便で「カニ」が届きました。代金引換というので、訪問介護中のヘルパーが本人に聞くと、「頼んでいない」と言うので受け取りを保留にしました。

数日前に電話があり、「カニが好きか」と聞かれたので、「はい」と答えただけだ」といいます。

＜消費者の皆さんへ＞

- ★ あいまいなやり取りに乗じて、勝手に商品を送りつけてくる手口です。このような場合、購入意志がなければ契約は成立しないので、品物を受け取ることも代金を支払う必要もありません。
- ★ ひとり暮らしの場合は、家族や近所の方など支援する方の注意が必要です。
- ★ 心配な時は、すぐ消費生活センターへ相談しましょう。



■ 問い合わせ先 ■

茨城県消費生活センター

常陸大宮市消費生活センター(本庁商工観光課内)

☎029-225-6445

☎52-2185(直通)